

8.【婦防活動】第23回岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会防火研修会ほか〔取手、豊田、霧島〕

第23回岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会防火研修会

宮城県 岩沼市消防本部

岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会の防火研修会が去る11月15日（日）午前9時から、岩沼市民会館において開催され、市内婦人防火クラブ員800人が参加しました。

櫻井会長から皆様のご協力を得て、防火の輪を広げましょうと挨拶をいただき開幕。続いて、市内小学校から募集した優秀防火啓発作品の表彰が行われ防火ポスター、防火標語、防火作文の入賞者に表彰状及び記念品が贈られました。その後、防火作文の部で最優秀賞に輝いた岩沼小学校5年大友紗英さんから、題名「お母さんの写真」を発表していただきました。

講演では『笑いで元気、笑顔で広げる防火の輪』と題し、素人演芸おだずもっこ〜ズ・あっべとっぺの助こと山崎孜氏から、歌とトークショーと語り、自ら体験した火災、そして地域での防災訓練の現状などユーモアをたっぷりと交えての紹介、また、住宅用火災警報器の必要性なども含め講演をしていただき、参加したクラブ員から大好評でした。クラブ員の体験発表では、2名のクラブ員から「町内の活動について」と題した活動体験と自分自身が体験した「身近で起きた火災」を発表していただきました。

また、アトラクションでは団体、個人の踊りを4クラブ、60人が参加して行われました。



4クラブ、60人が団体、個人の踊りを披露

[▲ このページの上に戻る](#)

平成21年度「婦人防火クラブ員救急講習会」開催

茨城県 取手市消防本部

取手市消防本部では、（財）日本防火協会の助成事業により平成21年度「婦人防火クラブ員救急講習会」の実施市町

村の選定を受けて、取手市婦人防火クラブ員を対象に9月27日・10月3日・11月15日の3日間に分けて救急講習会を開催し108名のクラブ員が受講しました。初日の開講式では、茨城県婦人防火クラブ連絡協議会の久慈会長が来賓として出席され、励ましの言葉をいただきました。

また、救急講習会では取手市消防本部の救急救命士が講師となり、心肺蘇生訓練人形・AEDトレーナー・気道確保指導モデル等、交付された物件を使用して普通救命講習を行い、クラブ員は皆さん緊張しながらも熱心に受講し、最後には受講者全員に修了証が手渡されました。

受講したクラブ員からは、「いざという時の備えとして、今回受講してよかったです。今度は、クラブ単位そして近所の方々を誘って受講していきたい。」などの感想が聞かれました。



久慈会長による来賓挨拶



救急救命士指導のもと心肺蘇生訓練



熱心に指導を受けるクラブ員

▲ [このページの上に戻る](#)

「You・遊：消防フェスタ2009」で婦防クラブ員が住警器をPR

愛知県 豊田市消防本部

11月15日（日）午前9時30分より、豊田市消防本部において、『WE LOVE 災害に強いとよた!』をテーマに「YOU・遊：消防フェスタ2009」が開催されました。

オープニングセレモニーは、屋外特設ステージで行い、少年消防クラブ防火作品並びに消防こども写生大会入賞者の表彰式を行いました。豊田市副市長を始めとする各賞の授与者から、賞状を受け取りました。その後、一日消防長の委嘱を行い、消防フェスタがスタートしました。

住宅防火PRコーナーでは、婦人消防クラブ員が簡単なアンケートを取りながら、豊田市の住宅用火災警報器キャラクターであるモクモクピートくんの印刷されたハンドタオルや通帳ケースなどを配布し、住宅用火災警報器に加え、防災物品や消火器など住宅防火に対する普及啓発に努めました。

例年人気の各体験コーナーでは、可搬ポンプと腕用ポンプによる放水体験やロープ渡過訓練、消防車、はしご車の試乗など、実際に体験をすることで消防を身近に感じ、消防士になりたいという子ど



婦防クラブ員が住警器をPR

もも増えたことでしょう。

今年度発足した高度救助隊、スーパーレスキュー豊田（SRT）の紹介コーナー、竹とんぼ・万華鏡作製コーナー、高齢者安心おしかけ講座などを新たに実施しました。特に、SRTコーナーでは子ども用のレスキュー服が試着でき、多くの子どもが救助隊員になりきって写真撮影をしていました。



ロープ渡過訓練



SRTコーナーでは子ども用のレスキュー服を試着

ステージならびにイベント広場では、豊田大和幼稚園幼年消防クラブのドリル演奏、豊田市消防キャラクターのファイヤーマンショー、エコレンジャーショー、消防団ラッパ隊演奏に加え、新たに、こじまハーモニーのハンドベル演奏が行われました。



豊田大和幼稚園幼年消防クラブのドリル演奏

最後に、消防音楽隊の演奏に合わせ、ひまわりフェアリーズが演技をしましたが、そこで職員有志によるひげダンスショーを行いました。水の入った風船を割ったりするおもしろおかしい演技の中で、割れた風船の中から住宅用火災警報器が出てきたり、住宅防火のメッセージの書かれた巻物が出てきたり、住宅防火の重要性を子どもから大人まで楽しみながら学んでもらえるよう劇を行いました。

5, 200名の来場者を迎え、秋晴れの中、子どもも大人も楽しみながら防火防災意識を高めました。

[▲ このページの上に戻る](#)

婦防クラブ員が参加して「防災フェスタINきりしま」を開催

鹿児島県 霧島市消防局

平成21年11月8日（日）霧島市消防局敷地内で2009「防災フェスタINきりしま」を（財）日本防火協会常務理事益本圭太郎様のご臨席を賜り開催しました。

昨年は朝から雨模様で心配されましたが、今年は晴天に恵まれ無難なくイベントの進行ができると喜んで望みました。

今年は消防局近辺で霧島市の同時イベント開催がなく、客の入りを心配しましたが、事前に市民全戸に配布したチラシやバイク雑誌・市報きりしまへの掲載・ケーブルテレビなど放送を依頼し、予想以上の来客があり推定ではありますが、約3千人の市民が訪れました。

「防災フェスタINきりしま」は、合併3周年を機に昨年
から開催しておりますが、防災フェスタの目的は、市民に消

防局を開放し防災に関係ある資機材を全て展示し、触れていただき、更に体験もして頂き、防災意識を老若男女問わず、市民に訴える目的で開催しております。おととしまでは「母と子の防火大会」（園児達に遊戯と防火の誓い）を屋内で開催し、参加する園児や関係保育園・幼稚園や父母のみで、幼少から「防火に対し認識させる」認識度が「いまいち」ないと、また屋内では収容人員に限られ、全ての市民が認識する、してもらう事が制限される事もありました。



園児が一日消防署長に



婦防による住警器普及活動

今回で二回目になりますイベントは、昨年に引き続き、園児に一日署長を委嘱しイベントの中心部で活躍してもらいました。消防局以外にも陸上自衛隊国分駐屯地・第十管区海上保安本部鹿児島航空基地・霧島警察署・県警航空隊・住宅用火災警報器の業者・アマチュア無線関係業者・南九州コカ・コーラボトリング・消防ポンプメーカー・医療器具メーカー・地元高校、高専のロボット展示などの資機材展示や訓練展示、さらに婦人防火協力会員による「炊き出し訓練」と「住宅用火災警報器」の普及活動など様々な関係機関のご協力をいただき、事故なく終了出来ました。

今回は、昨年と違い消防局近辺のイベントがなく、単独で開催するため一番気になります市民が見学に来るか、心配されましたが他方面からのアドバイスをいただきました。南九州マガジンウィズバイク雑誌関係者から、「月1回発行しているバイク雑誌で宣伝しませんか」宣伝内容は「消防局でウィズバイク写真撮影会」でどうでしょうか？との事でした。勿論、雑誌関係者も独自の宣伝も兼ね、毎月掲載する意味合いも含めておりますが、意外性を信じ、当日を迎えましたが、天候にも恵まれ大勢のバイクファンが県内外から集まり消防局敷地内にクラシックバイクからサイドカーまで、約100台勢揃いしました。中には、地元自動車学校も雑誌で知り、教習用のバイクの展示やツーリング仲間の団体も情報が入り、開催時間午後3時まで、出入りが多く見られました。



人形を使って心肺蘇生を実際に体験

バイク展示だけではなく、イベントの目的はあくまでも市民に対し、防災意識の高揚ですから、展示していただいたバイクの方も、心肺蘇生の見学や実際体験をしていただいたり、防災車両の見学や防災機器に触れていただいたり「安心・安全なまちづくり」に寄与出来たと確信しております。職員にもバイクファンがおり、興味深く見学しており、またサイドカーも外国製もあり、体験乗車もあり賑やかな雰囲気でした。

また消火実験コーナーで、業者が消火実験用の倉庫を設定していただき、火災を想定し、市民が実際消火剤で消火してもらい、貴重な体験をしていただきました。

今回のフェスタを振り返り、市民を集めるには、どのような方法があるか考えさせられたイベントでもありました。来年度は、予算とイベント内容を比べながら、市民に対し防災意識の向上を図りつつ霧島市内から、火災による被害を軽減することを目標として、次年度も工夫したイベントを目指し、市民アピールに努めたいと思います。



体験教室でロープ訓練